

令和4年度 園全体自己チェック評価表

主任保育士 寺田 絹美

| | 園全体としての行事 | 職員研修内容 | 保育内容の公表 | 小学校や地域の関係機関との連携 | 情報を必要とする人への情報提供 | 園全体としての保育目標・ねらい |
|---------|--|---|--|--|---|---|
| 今年度の評価点 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症の感染予防対策として親子遠足、保育参観、七夕まつりが中止とする。しかし園児のみで行うたけのこ掘り、夏まつり、芋ほり、もちつきは以上児のみだが例年通り行えた。 お遊戯会は平日3日間に分けて行い、コンサートは外部施設を借りて2部構成で行った。観覧人数の制限はあったが、大きな混乱もなく子ども達の頑張りを保護者の方に見てもらえた。 | <ul style="list-style-type: none"> 音体研修では子ども達を育てるための指導のこつや心構え、保育の原点について講義を受けたり、実際に子ども達に指導するための実技研修を行った。 園外の研修は参加型も増えたこともあり、オンライン研修と合わせて学ぶ機会が多くなったことは良かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 園だよりにて毎月の保育目標とクラスだよりにて毎月のねらいやクラスの様子を文章にて伝える。 保育の様子を写真に撮り、貼り出しをする。 キッズノートのアプリを利用して保育の様子や行事の様子を保護者の方に見てもらおう。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の小学校との交流も再開し、小学校の見学をしたり、一緒に遊ぶことで就学へ向けての興味を持つことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 園のホームページ上にて園での活動内容や給食の献立などを知らせている。 キッズノートのアプリを利用し、お知らせや活動の動画を配信する。ほぼ全家庭が登録していることで緊急時にも情報をスムーズに伝達する事ができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 園全体で子ども一人一人の健康状態や情緒面など職員会議で認識することで担任外の職員も気にかけて子どもと関わる事ができた。 感染症のため行事が少なかったところはあるが、各クラスで工夫をこらしいつも以上に子ども達一人一人と関わって活動する事ができた。 |
| 今年度の課題点 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症の流行期と行事が重なることもあり、直前で変更したり職員に臨機応変な対応をとってもらったことが多かった。 運動会は感染症予防の為プログラムの省略と観覧人数の制限をして行った。プログラムを省略したため待ち時間ができてしまった。プログラム内容と構成を考えていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症を予防するため全体で集まっての研修会は行なわなかったため全体での意思の疎通や、各クラスの取り組み、悩みなどが伝わりにくかった。研修で学んだことをレポートにして全員が閲覧できるようにしたり、少人数や学年ごとに集まって研修会を行うなど検討できたように思う。 | <ul style="list-style-type: none"> 園だより、クラスだより、掲示物などはお願いや行事についての伝達が多く、クラスでの取り組みや子ども達の様子を伝えることが少なかったように思う。 行事が少なく、保育の様子を撮影する機会がなかったことで写真の張り出しが少なかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 近くの小学校との交流はあるものの、他の小学校との関わりがあまりないので就学に向けて交流できる機会があるとよかった。 地域の小学校、近隣の保育所幼稚園の先生が集まり、連絡会を開催することがなく、情報共有できる機会がなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> キッズノートの登録者がほぼ100%となり、緊急時の伝達ツールとして活用できたが、通常のお知らせと緊急時の伝達が同じように配信されるためすぐに読まれない家庭も増えてきている。 | <ul style="list-style-type: none"> 各学年ごとの連携はとれているが、感染症予防のために他学年と集まることを避けていたことにより、他学年との交流が少なかった。 |
| 次年度の改善点 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症に対する対応が変化していくが、病気の流行がなくても園児やその関係者が安全に安心して行事を楽しむにはどうすればいいのか考えていきたい。 感染症に対する国の指針が変わることで、行事も例年通りに開催するのか、行事の在り方を変えていくのか検討が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後は全体での研修会の機会を持ち、園全体の課題を討議したりや新人保育士のための講習会や先輩とのグループ討議などを今後も取り入れていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> クラスだよりの内容の充実を図る。 行事だけでなく日頃の保育も撮影して掲示し、沢山の保護者にみてもらおう。 | <ul style="list-style-type: none"> 各小学校や地域の方と今まで以上の連携がどうすればとれるのか考えていく。 | <ul style="list-style-type: none"> キッズノートの配信は緊急性のあるものと、園だよりなどのお知らせとの違いをわかりやすくすることで既読数をあげ、緊急時の個別連絡をなくせるようにしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 保育があって行事があるということを職員が認識し日々の保育を充実させることで一人一人の成長に合わせた保育を心がけたい。 他クラスとの交流を持つことで担当外の子どもの事を知り、園全体で子ども達を見守りたい。 |

令和3年度 園全体自己チェック評価表

主任保育士 寺田 絹美

| | 園全体としての行事 | 職員研修内容 | 保育内容の公表 | 小学校や地域の関係機関との連携 | 情報を必要とする人への情報提供 | 園全体としての保育目標・ねらい |
|---------|--|--|--|--|--|--|
| 今年度の評価点 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症の感染予防対策として親子遠足、保育参観、七夕まつりが中止となる。しかし園児のみで行うたけのこ掘り、芋ほり、もちつきなどは以上児のみだが例年通り行えた。 お遊戯会は観覧人数を各家庭1名に制限し、平日3日間に分けて行った。保育をしながらの発表ではあったが、大きな混乱もなく子ども達の頑張りを保護者の方に見てもらえた。 | <ul style="list-style-type: none"> 音体研修では子ども達を育てるための指導のこつや心構え、保育の原点について講義を受ける。 園外の研修は感染症対策の為ほとんどが中止となるが、オンラインでキャリアアップの研修を受けるなど学ぶ機会が多くなったことは良かった。 グループ討議を行い、クラス外の事も知る機会が出来た。 | <ul style="list-style-type: none"> 園だよりにて毎月の保育目標とクラスだよりにて毎月のねらいやクラスの様子を文章にて伝える。 保育の様子を写真に撮り、貼り出しをする。 キッズノートのアプリを利用して保育の様子や行事の様子を保護者の方に見てもらおう。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の小学校との交流が感染症のため行えなかったが、小学生からの手紙が届いたり、小学校へ向けての興味を持つことができた。 地域の小学校、近隣の保育所幼稚園の先生が集まり、連絡会を開くことで就学に際して指導して欲しいことなど聞くことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 園のホームページ上にて園での活動内容や給食の献立などを知らせている。 ホームページにてツイッターのお知らせを掲載し、誰でもが園からの伝達を閲覧できるようにしている。 キッズノートにてお知らせや動画を配信することで、登録する保護者が増え緊急時にも情報をスムーズに伝達する事ができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 園全体で子ども一人一人の健康状態や情緒面など職員会議で認識することで担任外の職員も気にかけて子どもと関わる事ができた。 感染症のため行事が少なかったところはあるが、各クラスで工夫をこらしいつも以上に子ども達一人一人と関わって活動することができた。 |
| 今年度の課題点 | <ul style="list-style-type: none"> 日々変わる感染症状況に、行事の先行きが見えず、直前で変更したり職員にも保護者にも不安な気持ちにさせてしまった。 感染症予防のためリトルコンサートの開催方法をビデオ配信にすることを決めるが、一斉に撮影できずやり終えた気持ちを園児にも先生達にも感じさせてあげられなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症を予防するため全体で集まった研修会は行なわなかったため全体での意思の疎通や、各クラスの取り組み、悩みなどが伝わりにくかった。研修で学んだことをレポートにして全員が閲覧できるようにしたり、少人数や学年ごとに集まって研修会を行うなど検討できたように思う。 | <ul style="list-style-type: none"> 園だより、クラスだより、掲示物などはお願いや行事についての伝達が多く、クラスでの取り組みや子ども達の様子を伝えることが少なかったように思う。 行事が少なく、保育の様子を撮影する機会がなかったことで写真の張り出しが少なかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 近くの小学校との交流はあるものの、他の小学校との関わりがあまりないので就学に向けて交流できる機会があるとよかった。 地域の敬老会との交流会が感染症のため行えなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> キッズノートの登録者が増えるものの、全員の登録とまではいかず、個別に連絡することが多かった。また、お知らせが届いていることに気づかない方も多く、その方達にも個別の連絡が必要となり、緊急時の伝達ツールとしては難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> 各学年ごとの連携はとれているが、感染症予防のために他学年と集まることを避けていたことにより、他学年との交流が少なかった。 |
| 次年度の改善点 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染予防をしつつ行事をどう進めていくかが問題になっていた。病気の流行がなくとも園児やその関係者が安全に安心して行事を楽しむにはどうしたらいいのか考えていきたい。 今年度の対策をふまえて例年通りに開催するのか、行事の在り方を変えていくのか検討が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策をしつつ、全体での研修会の機会を持ち、園全体の課題を討議したりや新人保育士のための講習会や先輩とのグループ討議などを今後も取り入れていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> クラスだよりの内容の充実を図る。 行事だけでなく日頃の保育も撮影して掲示し、沢山の保護者にみてもらおう。 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策をしつつ、小学校や地域の方とどのような交流ができるのか考えていきたい。 各小学校や地域の方と今まで以上の連携がどうすればとれるのか考えていく。 | <ul style="list-style-type: none"> キッズノートの全員登録を目指し、緊急時の伝達ツールとなるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 保育があって行事があるということを職員が認識し日々の保育を充実させることで一人一人の成長に合わせた保育を心がけたい。 他クラスとの交流を持つことで担当外の子どもの事を知り、園全体で子ども達を見守りたい。 |

令和2年度 園全体自己チェック評価表

主任保育士 寺田 絹美

| | 園全体としての行事 | 職員研修内容 | 保育内容の公表 | 小学校や地域の関係機関との連携 | 情報を必要とする人への情報提供 | 園全体としての保育目標・ねらい |
|---------|--|--|---|--|--|--|
| 今年度の評価点 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症の感染予防対策としてたけのこ掘り、親子遠足、保育参観、七夕まつりが中止となる。また、芋ほり、もちつき、リトルコンサートは対象年齢を制限して行った。 お遊戯会は観覧人数を各家庭1名に制限し、平日3日間に分けて行った。保育をしながらの発表ではあったが、大きな混乱もなく子ども達の頑張りを保護者の方に見てもらえた。 | <ul style="list-style-type: none"> 音体研修では子ども達を育てるための指導のこつや心構え、信頼される大人になるにはなど保育の原点について講義を受ける。 園外の研修は感染症対策の為ほとんどが中止となるが園内に講師の先生を呼んで研修を行うことが出来た。 | <ul style="list-style-type: none"> 園だよりにて毎月の保育目標とクラスだよりにて毎月のねらいやクラスの様子を文章にて伝える。 保育の様子を写真に撮り貼り出しをする。 キッズノートのアプリを利用して保育の様子や行事の様子を保護者の方に見てもらおう。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の小学校との交流が感染症のため行えなかったが、小学校の様子を撮影した映像が届き小学校の様子を知ることが出来た。 地域の小学校、近隣の保育所幼稚園の先生が集まり、連絡会を開くことで就学に際して指導して欲しいことなど聞くことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 園のホームページ上にて園での活動内容や給食の献立などを知らせている。 ホームページにてツイッターのお知らせを掲載し、誰でもが園からの伝達を閲覧できるようにしている。(動画、園だよりはID登録した保護者のみ閲覧可能) キッズノートにて園からのお知らせを配信する。 | <ul style="list-style-type: none"> 園全体で子ども一人一人の健康状態や情緒面など職員会議で認識することで担任外の職員も気にかけて子どもと関わる事ができた。 感染症のため行事が少なかったところはあるが、各クラスで工夫をこらしいつも以上に子ども達一人一人と関わって活動することができた。 |
| 今年度の課題点 | <ul style="list-style-type: none"> 日々変わる感染症状況に、行事の先行きが見えず、直前で変更したり職員にも保護者にも不安な気持ちにさせてしまった。 地域の小学校や他の保育園の活動内容を参考に園での行事の取り組み方を考えていくが、先を見通せずその場その場での対応となってしまった。 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症を予防するため全体で集まっての研修会を行うことをしなかったが、全体での意思の疎通や、各クラスの取り組みや悩みなどが伝わりにくかった。研修で学んだことをレポートにして全員が閲覧できるようにしたり、少人数や学年ごとに集まって研修会を行うなど検討できたように思う。 | <ul style="list-style-type: none"> 園だより、クラスだより、掲示物などはお願いや行事についての伝達が多く、クラスでの取り組みや子ども達の様子を伝えることが少なかったように思う。 行事が少なく、保育の様子を撮影する機会がなかったことで写真の張り出しが少なかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 近くの小学校との交流はあるものの、他の小学校との関わりがあまりないので就学に向けて交流できる機会があるとよかった。 地域の敬老会との交流会が感染症のため行えなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 緊急時の伝達ツールとしてホームページをこまめに観てもらえるように情報を更新しなければならなかったがなかなか更新できなかった。 キッズノートのアプリを活用し、動画の配信やお知らせをするが、登録者がなかなか伸びなかった。また、お知らせが届いていることに気づかない方も多く、緊急時の伝達ツールとしては難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> 各学年ごとの連携はとれているが、感染症予防のために他学年と集まることを避けていたことにより、他学年との交流が少なかった。 |
| 次年度の改善点 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染予防をしつつ行事をどう進めていくかが問題になっていた。病気の流行がなくとも園児やその関係者が安全に安心して行事を楽しむにはどうしたらいいのか考えていきたい。 今年度の対策をふまえて例年通りに開催するのか、行事の在り方を変えていくのか検討が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策をしつつ、全体での研修会の機会を持ち、園全体の課題を討議したりや新人保育士のための講習会や先輩とのグループ討議など取り入れていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> クラスだよりの内容の充実を図る。 行事だけでなく日頃の保育も撮影して掲示し、沢山の保護者にみてもらおう。 | <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策をしつつ、小学校や地域の方とどのような交流ができるのか考えていきたい。 各小学校や地域の方と今まで以上の連携がどうすればとれるのか考えていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 行事の前の伝達としてツイッターのお知らせ機能をうまく活用することができていたが、緊急時にも閲覧してもらえるように保護者への通達が必要である。 キッズノートの全員登録を目指すとともに、緊急時の伝達ツールとして活用できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 保育があつて行事があるということを職員が認識し日々の保育を充実させることで一人一人の成長に合わせた保育を心がけたい。 他クラスとの交流を持つことで担当外の子どもの事を知り、園全体で子ども達を見守りたい。 |

令和元年度 園全体自己チェック評価表

主任保育士 寺田 絹美

| | 園全体としての行事 | 職員研修内容 | 保育内容の公表 | 小学校や地域の関係機関との連携 | 情報を必要とする人への情報提供 | 園全体としての保育目標・ねらい |
|---------|--|---|---|---|--|---|
| 今年度の評価点 | <ul style="list-style-type: none"> 七夕まつりを発表としての行事ではなくお祭りの要素を増やして親子で楽しめる行事とした。 リトルコンサートは会場を大野城まどかぴあで行い駐車場の心配も無く園児、保護者にもゆっくりと観てもらうことができた。新型コロナウイルスの流行期だったため感染予防で全園児のマスク着用と入館者の入口での手指消毒を徹底した。 | <ul style="list-style-type: none"> 春の音体研修では子ども達をやる気にさせるには話術、子どもを楽しませるには先生が楽しむことなど保育の原点について講義を受ける。 定期的な全体会議にて各々が学んできた研修の報告を行い職員間で共通の意識を持つことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 園だよりにて毎月の保育目標とクラスだよりにて毎月のねらいやクラスの様子を文章にて伝える。 保育の様子を写真に撮り貼り出しをする。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の小学校と交流を行い、就学に向けての期待感を持つことができた。 地域の小学校、近隣の保育所幼稚園の先生が集まり、連絡会を開くことで就学に際して指導して欲しいことなど聞くことができた。 地域のシニアクラブの方を招待し、一緒に昼食をとるなど触れ合いができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 園のホームページ上にて園での活動内容や給食の献立などを知らせている。 ホームページにてツイッターのお知らせを掲載し、誰でもが園からの伝達を閲覧できるようにしている。(動画、園だよりはID登録した保護者のみ閲覧可能) | <ul style="list-style-type: none"> 園全体で子ども一人一人の健康状態や情緒面など職員会議やグループ討議で認識することで担任外の職員も気にかけて子どもと関わることができた。 |
| 今年度の課題点 | <ul style="list-style-type: none"> 七夕まつりのショーは打ち合わせがうまくいかず園児には少し難しい内容になってしまった。 たけのこ掘りは雨天の予報もあったため、年長のみ参加でマイクロバスを借りるなど対応した。 感染症予防のためリトルコンサートの開催方法を考慮するが直前になって対応策を決めることになった。 | <ul style="list-style-type: none"> 研修の度に内容を決めて行っていたので前回のことが次につながっておらず、深いところまで討論することができなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 園だより、クラスだより、掲示物などはお願いや行事についての伝達が多く、クラスでの取り組みや子ども達の様子を伝えることが少なかったように思う。 | <ul style="list-style-type: none"> 近くの小学校との交流はあるものの、他の小学校との関わりがあまりないので就学に向けて交流できる機会があるとよかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 緊急時の伝達ツールとしてホームページをこまめに観てもらえるように情報を更新しなければならなかったがなかなか更新できなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 行事に追われ日々の保育の振り返りや、一人一人との関わりが十分にできていたか疑問である。 |
| 次年度の改善点 | <ul style="list-style-type: none"> 七夕まつりのショーの打ち合わせは市役所を介してのことだったので直接話すことができなかった事が問題だった。 新型コロナウイルスの感染予防をしつつ行事をどう進めていくかが問題になっていた。病気の流行がなくても園児やその関係者が安全に安心して行事を楽しむにはどうしたらいいのか考えていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 園全体で考えるべき議題は様々あるが、議題を一つにしぼって話し合いを重ねることでもっと細やかな所まで考えられるのではないかと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> クラスだよりの内容の充実を図る。 行事だけでなく日頃の保育も撮影して掲示し、沢山の保護者にみてもらう。 | <ul style="list-style-type: none"> 各小学校や地域の方とより以上にどのような交流や連携がとれるのか考えていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 行事の前の伝達としてツイッターのお知らせ機能をうまく活用することができていたが、緊急時にも閲覧してもらえるように保護者への通達が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 保育があつて行事があるということを職員が認識し日々の保育を充実させることで一人一人の成長に合わせた保育を心がけたい。 |